

鯨組の正体

NAMAZU BIYORI

鯨組の正体



鯨組の正体



写真：三嶋 義秀

さて、今に始まった事ではありませんが、木造建築の業界(そうくるのもどうかと思いますが)には**閉塞感**があります。家のづくり方は今更大きくは変わらないし、住むところも足りている。木造建築をつくる為の仕組みは大体できあがっている。そうなると我々もうっかりすれば、ただそれをこなしているだけになってしまう。でももう一度仕組みを見直したり、鯨組だからこそできる事ってあるはずなんですよね。



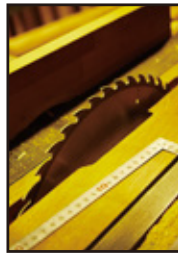
鯨組には**社寺建築の経験者**がいたり、**数奇屋建築の経験者**がいたり、**みんな色んな経験**をしています。自分の専門分野をしっかりと持った上で、建築業界の中を自由に行ったり来たりできる。建築業界を飛び出して活動ができる。異質なものを繋ぐ事ができる。そういった所に我々のやるべき事があると思っています。



2014年春に思う事

鯨組では、昨年一昨年と会社の仕組みづくりをしてきました。これは大事な事で、今後も続けていく事ですし、まだまだ完成していませんが、そろそろ考えなければいけないのが、その仕組みの中で個人が何をやるのかという事だと思っています。

我々の仕事は一度仕組みができれば後は誰がやっても同じ、という性質の仕事ではないからです。



そのためには**社員一人ひとりが自分の名前で勝負**しなければいけないと思っています。

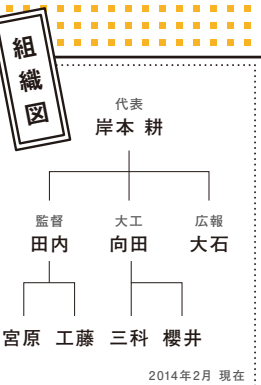
最終的な責任は会社の代表者である私が負うわけですが、それをしないと歯車のように回っているに過ぎません。鯨組では、**まともな職人がまともな収入を得る**という当たり前でなかなかできない事をテーマの一つとしてかけていますが、それができるのも社員一人ひとりが自分にしかできない事を見つけて、自身の仕事に誇りをもてるようになった時だと思います。





今年のお正月休みに、改めて鯨組という名前について考えてみました。鯨組って暗い所に潜んでいて不気味ですね。暴れだしたら地震が起きそう、なんて思われている。でも、そういうイメージも悪くないなと思うんです。我々の基本的な姿勢は挑戦者でありたいし、私が働きだしてからずっと続いている暗い世の中の雰囲気を変えたい。建築家に憧れて大学の建築学科に入学した私が素直に設計事務所就職しなかったのも、出来上がってしまっている建築業界の仕組みを壊したいという気持ちがあったからです。我々の存在も、業界の中で少々忌み嫌われるくらいいいのではないかと思います。暗い時代に生まれて何か不気味だけど、よく見ると愛嬌があって、グラグラと揺さぶりをかけて何かを変えてくれそう。そんな存在でありたいと思っています。

鯨組では縁があって、今年から来年にかけて、京都にもう一つの拠点をつくる計画が動き始めています。京都には、木にしても石にしても土にしても、いいものが集まっています。地域の工務店が中心となっていてできる家づくりの仕組みも独特です。見かける住宅にはさりげなく数寄屋建築の要素があり、全体的にレベルが高い。でも、閉ざされていて、偏っている感じは否めません。そこにも鯨組でできる事があると思っています。ここ二年じっくり取り組んできた事の成果が、この計画をきっかけに花開く、そんな気がしてならない年の始まりです。



名前

- 1:出身大学
- 2:尊敬する人物



岸本 耕 (総組代表)

- 1:芝浦工業大学工学部建築学科
- 2:田中文男



田内 徹郎 (監督・大工)

- 1:芝浦工業大学大学院 (建設工学専攻)
- 2:前職親方と大学時代の恩師



宮原 大輔 (監督)

- 1:東京藝術大学美術学部建築科
- 2:南方熊楠



工藤 順一 (監督)

- 1:ワシントン州立大学建築学科
- 2:中村好文・ヨーン ウツソン



向田 八司 (大工棟梁)

- 1:来年還暦、大工歴四十年、若い鯨に負けないように頑張りたいものです。
- 2:佐藤秀工務店の元棟梁小野さん・水沢工務店の西村棟梁・藤森工務店の元棟梁福富さん彼らは私の大工力の血液です。



三科 尚也 (大工)

- 1:工学院大学工学部建築学科
- 2:前職親方と先生



櫻井 藍 (大工見習い)

- 1:滋賀県立大学環境科学部 環境建築デザイン学科 同大学大学院 環境科学研究科(環境計画学専攻)
- 2:恩師 布野修司先生



大石 真理子 (広報)

- 1:大阪芸術大学映像学科
- 2:岡本かの子

春

のはじめに、なんてんcafeも、いろいろと立ち止まって考えてみました。まだまだ寒さが身にしみずすが、暦の上では春を迎えようとしています。

ふと、スタッフの顔を見て、過去のメニューを開いてみると、今と全然違っていることに気がつきます。食事メニューもどんどん変わるし、スタッフも変わるし、営業時間も変わるし…こんなにどんどん変わっていくお店はなかなかないと思います。

でも、今のようにランチを提供するようになったのも、お客様から「ここでランチができればねえ」の一言からですし、カウンター席ができたのも、「お座敷だと座るのが

キツイ」というお客様の意見からです。変わることお客様に多少のご迷惑をおかけしていることもありますが、変わるっていいことなのかなあとも、考えています。

これからのなんてんcafeは欲張って、地域の方の暮らしも変えていこうと思っています。私たちが変わるのではなく、地域で活動する人たちと、柔軟に意見を交換しながら、一緒に出来ること探っていこうと思います。暮らしを良くしたい!と考えているのは、鯨組やなんてんcafeだけではない。町の人々の声に耳を澄ませ、地域の暮らしがより楽しくなるように、努力していこうと思います。

Information1 2014年2月よりスタート

子どものための家庭科教室

korinco home (コリンコホーム)

衣食住に関する生活の学びを実生活に取り入れやすい形で学んでいきます。子どもたちのやってみたい気持ちを応援し、楽しみながら生活をつくる力を育てます。家庭科教室の詳細はkorincoのブログをご覧ください。
(<http://ameblo.jp/kodomotoissyo-osigoto>)



鯨組となんてんcafeは「住」プログラムの開発と場所の提供でご協力しています

家庭科は暮らすことを総合的に学ぶ科目だという考え方に賛同し、協力させていただくことになりました。子どもの頃から地域の大人と触れ合うこと、暮らしの中の楽しみを見つける訓練をすること、子どもたちの成長のお手伝いをさせていただきたいと思っています。鯨組はこどもとともに「住まい」を考えるプログラムの開発のお手伝いをさせていただきます。

Information2 春からは新しいプログラムも始まりです

ママとベビーとキッズのお教室&ママセラピスト養成スクール

shines (シャインズ)

ベビーマッサージ・ファーストサイン親子教室/セラピスト資格取得スクールshinesです。豊島区・板橋区・練馬区を中心に、都内近郊出張にて活動させていただいております。詳しくはshinesのブログをご覧ください。
(<http://ameblo.jp/babybabybaby0244>)



レンタルスペースを行っています

お座敷スペースを貸し出すサービスを行っています。Shinesさんは、なんてんcafeがレンタルスペースを始めた当初からのお付き合い。cafeから聞こえてくる赤ちゃんの声に、鯨組のスタッフも癒されています。
【レンタルスペースについて】朝9:00-11:30 お座敷のみ1,000/1時間でお貸ししています。
詳細はなんてんcafeHP (<http://www.nantencafe.com/>) をご覧ください。
※カウンター・キッチンでは通常営業を行います。あらかじめご了承ください。

節目の食卓

2月から3月にかけて、季節は冬から春へと移り変わっていきます。

さて、節分という言葉は、もともとせち(節)分かれともいい、季節の分かれ目を刺す言葉です。立春・立夏・立秋・立冬の前日が節分にあたりますが、今では2月3日のことをさす言葉になりました。

季節の変わり目には鬼が出るといわれています。節分の日には、焼いた鰯の頭に柊を刺したものを門に飾っておき、鬼を追うという風習があります。鰯を焼くと出る煙と臭いで邪気を追い払い、柊の針で鬼の目を刺すという魔除けの意味があるそうです。

節分の日、我が家では必ず豆まきをするにしています。飼猫も鬼役などで参加、家族行事になっています。我が家の節分に欠かせないのが「恵方巻き」です。もともとは関西の食文化なのですが、東京生まれの私も、物心ついた頃には恵方巻きを食べていたように思います。母にどうして恵方巻きを食べるようになったのかを聞くと、「恵方巻きの文化を流行らそうとしている流れがあったので、面白いから乗っかってみたのよ。」



とのこと。発祥は諸説あるのですが、ここまで全国的に広がったのは、昭和40年代に大阪海苔問屋協同組合が、平成元年に大手コンビニが、販促目



的に広めたことがきっかけのようです。大豆や鰯ではなかなか食卓のメインにはなりにくいですが、恵方巻きなら食卓も華やきます。「面白そうだからやってみよう!」案外そんな理由で、食卓に受け入れられていったのかもしれませんが。家族で集まって豆まきをして、笑ってしまいたいところをこらえて黙々とお寿司を頬張る。季節の節目を楽しく美味しく過ごして欲しいと思います。さて、ここで我が家で人気の太巻きの具を紹介いたします。

アボカド×穴子

お薦め
具材①

まるやかなアボカドと甘い穴子がベストマッチです。珍しい組み合わせかもしれませんが、美味しいですよ!

玉子焼×ホウレン草×かんぴょう×沢庵の細切り×椎茸の甘煮

お薦め
具材②

王道です。ちなみに太巻きは、七福神になぞらえて、7つの具を巻くと縁起が良いとも言われています。かまぼこやシソなどを加えて、七福神にしてもよいかもしれません。

節分の日にはまるかぶり基本ですが、太巻きは本来切っていただくもの。春のお弁当などにもびったりですので、是非挑戦してみてくださいね。



安田 怜未 やすだ れみ

ABCクッキングスタジオでの料理教室の運営や料理講師など、食に関わる仕事を経て、現在はなんてんcafeスタッフとして手腕を振るう。シフォンケーキやタルトなど、スイーツづくりを得意とし、なんてんcafeでも大人気。無類の猫好き。



参加者募集

自分だけの木の食器を作ろう!【鯨の木工教室】 お箸&木のお皿づくり

鯨組の大工さんと一緒に、工作に挑戦してみませんか??
住宅の建築現場で出た端材を使って、お箸とお皿を作ります。
シンプルで丈夫な木のお皿は使い勝手がよくお菓子をのせたり、
コースターにしたり、様々な用途で使えます。食卓を彩る素敵な食器を作りましょう。

【材料について】材料は、建築の現場で出た廃材です。
どれだけ良い材料でも、建築現場で使えない長さになってしまうと
「端材」と呼ばれゴミ扱いになってしまいます。しかし、作る人の想像力次第では暮らしの中で使える道具として活かすことができます
と思います。皆様の参加をお待ちしております。

★工場にある端材は当日希望者の方にお分けいたします。

出張なんてんcafe

工場の事務所スペースにて、コーヒーとお菓子を300円にて販売いたします。見学される方もゆっくりとお過ごし下さい。



場所: 鯨組草加工場

(東武スカイツリーライン谷塚駅徒歩10分)

日時: 2014年3月29日(土)10:00~14:00

対象: 小学生以上

参加費: 1家族1000円(保険料込)

持ち物: お弁当・飲み物・軍手・タオル・
汚れても良い服装

※詳細は参加者の方に別途ご連絡いたします。
※当日はまだ寒いことが予想されるので暖かい格好でお越し下さい。お申し込み:電話またはメールにて、鯨組大石真理子までお願いいたします。
(ページ下記「お問い合わせ」参照)

鯨組について知りたい!という方はこちらをご覧ください

HP



www.yoshikawano-namazu.com

WEB マガジン

HP内「鯨の小窓」ページでは、鯨組の
日々の出来事やコラムなどを発信しています。



www.yoshikawano-namazu.com/komado

ショールームカフェ



なんてん cafe

鯨組の事務所の1Fのカフェです。オープン 11:30-22:00(不定休)

カフェとして営業しておりますので住宅のセールスなどは一切ございません。お茶をしながらゆっくりとお過ごしください。

お問い合わせ | 新築・リフォームの相談や、
資料請求など

TEL : 03-5986-1081 FAX : 03-5986-1082
メール : office@yoshikawano-namazu.com
アクセス : 〒171-0043 豊島区要町 1-10-7



定期購読を希望の方は、
広報担当大石真理子までお問い合わせください。

鯨日和 vol12 (隔月刊) 発行人: 鯨組 岸本耕
編集: 大石真理子 デザイン: 渡辺明日香 写真: 三嶋 義秀